

【樹木・草花の部屋】

ミズヒキ（タデ科タデ属 *Antenoron filiforme*）

和名；水引 **別名**；ミズヒキソウ **英名**；

タデ目 多年草

原産地；インド

花言葉；慶事、祭礼

花の色；赤、白



← 写真－1 ミズヒキソウ

撮影日：2012年10月7日

撮影場所：京都府木津川市

当尾にて

撮影者：Tさん

緑友会ワンデーハイキングで当尾に出かけました。岩船寺から浄瑠璃寺のハイキングコースで道端で見つけました。シャガも見つけました。

ミズヒキソウは普通名で、和名はミズヒキというそうです。

写真－2 ミズヒキソウの葉花

斑入り ⇒

撮影日：2012年10月11日

撮影場所：奈良県上牧町

T邸にて

撮影者：Tさん



家に戻ると、ギンモクセイの根元に当尾で見た同じものがありました。葉は斑入りでした。

数年前に、知人からいただいたそうで、アチコチに生えていました。あまりよく花を見たことはありませんでした。見覚えのあるのは、花の枯れた後の枝でした。ナンジャーという感じで見ていました。

【樹木・草花の部屋】

写真-3 ミズヒキソウの花 ⇒

撮影日：2012年10月11日

撮影場所：奈良県上牧町

T邸にて

撮影者：Tさん



<ちょっと一言>

茎の先端から数本の長い花茎を出し、まばらに花をつけます。花卉に見えるものは萼であり、長い期間、花が咲いているように見えます。花期は8月から11月。

和名の由来は細くて長い花穂を祝儀封筒や進物にかける水引にたとえたものと言われています。果実を上から見ると赤く、下から見ると白く見えることから紅白の水引に見立てたのだらうと思います。

木陰などの暗い場所に育つので、目立たない花ですが、わび、さびの世界で重んじられ茶室のわきなどに植えられることもあります。つまり、茶花として好まれています。

ギンミズヒキは花（果実）の色変わりで白花のものです。

名前の良く似たキンミズヒキがありますが、バラ科で花の色も構造もまるで違います。